



少しずつ春らしくなってきましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。暖かくなると、冬の間休みがちだった南の国からの学習者が教室にひょっこり現れたりして、なんだかうれしい気分になるのは私だけでしょうか？日本人も外国人も、一番入れ替わりが多いのは3月だそうです。この春も日本語教室ならではの素敵な出会いがみなさんの教室に訪れますように…。

♪のぞいてみよう、日本語教室♪

北九州市内には10以上の日本語教室があります。

みんなそれぞれどんな活動をしているのでしょうか。今回は9団体からアンケートの回答を頂きました。お忙しい中ご協力頂いたボランティア教室の皆様、どうもありがとうございました。その他のアンケート集計結果(続報)はVOL6でも詳しくお伝えします！！

Q:現在の活動人数は？

- 2人以上5人未満・・・1団体
- 5人以上10人未満・・・3団体
- 10人以上20人未満・・・3団体
- 20人以上30人未満・・・2団体

中には日本語堪能なフィリピン人や中国人の方がメンバーとして活躍されている教室もありました！

Q:ボランティアグループ発足は何年前ですか？

- 1年未満・・・2団体
- 1年～5年前・・・2団体
- 5年～10年前・・・2団体
- 10年～15年以上・・・1団体
- 15年以上・・・2団体

なんと15年以上という団体が2グループも！一方で最近活動を始めたばかりの団体もありました。どの教室もとっても個性的な活動をされています！

Q:外国人参加者の国籍は？

- 1位・・・中国
- 2位・・・フィリピン
- 3位・・・韓国
- 4位・・・インドネシア・アメリカ
- 5位・・・その他

韓国が2位と思いきや、意外にも2位はフィリピンでした。インドネシア人は企業研修生を中心に増加傾向にあるようです。

♪今月のおすすめ図書♪

「日本人の知らない日本語」なるほど～×爆笑！の日本語“再発見”コミックエッセイ
蛇蔵&海野尻子 著 メディアファクトリー 出版

とにかく！笑えます！！日本語を教えたことがある人も、そうでない人も。舞台はとある日本語学校。様々な国籍の学生に日本語を教える日本語教師とそこに通うユニークな学生達の日常がコミカルに描かれたエッセイです。面白いだけでなく、へへ～、なるほど！と思わせるようなこぼれ話も満載で最後まで一気に読んでしまいます。ネタをばらすと面白くないのでここでは多くを語れませんが・・・ほんつとに笑えます。



北九州国際交流協会ラウンジのリソースコーナーにも置いてあるので是非借りて読んでみてくださいね♪

日本語コラム

「日本に来て一番驚いた」とは何？」

以前、京都で知り合ったトルコ人の女の子に「こんなありふれた質問をしたことがある。

「字が上から下に書いてあること。」

答えは意外にも全くありふれたものではなかった。

確か一月だったと思う。底冷えのする京都を何日も観光して歩き回った挙句、何

で一番驚いたことが「縦書き」なんだろう。これほど外国

人受けする町は他にないはずなのに…。

彼女は外国人観光客がよく買う新撰組のはつぴや舞

妓セツトには目もくれず、読めもしない単行本を一冊

おみやげに買って帰った。あれから十年。あの本、今頃どうなってるのかな。彼女

の子どもその本を開き、「ママ、ナニコレ！」って言うてたらおもしろい。

